

平成 27 年度 A 日程一般選抜入学試験問題

(新潟県立大学大学院 国際地域学研究科国際地域学専攻)

専門試験（筆記試験）

注意事項

1. 試験時間は、午前 11 時 00 分から 12 時 00 分までである。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
3. この試験は、問題冊子（2 ページ）、解答用紙 2 枚及び下書用紙 1 枚を配布する。
4. 3 題の中から 1 題のみを選択して解答すること。2 題以上に解答した場合は、解答をすべて無効とする。
5. 試験開始の合図があってから解答用紙に、受験番号と解答する問題番号（1 国社、2 地域、3 各国のいずれか 1 つ）を必ず所定の欄に記入すること（氏名の記入は不要）。解答用紙は 2 枚あるので、必ず 2 枚すべてに記入すること。
6. 解答は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
7. 問題冊子にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
8. 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。
ただし、具合が悪くなった場合、トイレに行きたくなった場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
9. 試験終了の合図があったら直ちに筆記用具を置くとともに、机の上に問題冊子と下書用紙を重ねて置き、その上に表にした解答用紙を重ねておくこと。
10. 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

(1 国社) Question

冷戦終結から今世紀にかけて発生した武力紛争を題材に、そこに見られる戦争様式の変容を安全保障観の変貌と関連させながら検討し、現代国際社会における戦争と平和について論じなさい。

(2 地域) Question

「東アジア」「北東アジア」「アジア太平洋」「ヨーロッパ」などある一つの地域を最初に明記して、その特徴について「制度化 institutionalization」の観点から論ぜよ。

(3 各国) Question

日本、米国、中国、韓国、ロシアのうち、自国以外のいずれか一つの国の政治と社会について、自国の政治と社会と比較しながら、すなわち比較政治論と比較社会論の観点から論じなさい。その際、具体的な事例を幾つか挙げなさい。

平成 27 年度 B 日程一般選抜入学試験問題

(新潟県立大学大学院 国際地域学研究科国際地域学専攻)

専門試験（筆記試験）

注意事項

1. 試験時間は、午前 11 時 00 分から 12 時 00 分までである。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
3. この試験は、問題（2 ページ）、解答用紙 2 枚及び下書用紙 1 枚を配布する。
4. 3 題の中から 1 題のみを選択して解答すること。2 題以上に解答した場合は、解答をすべて無効とする。
5. 試験開始の合図があってから解答用紙に、受験番号と解答する問題番号（1 国社、2 地域、3 各国のいずれか 1 つ）を必ず所定の欄に記入すること（氏名の記入は不要）。解答用紙は 2 枚あるので、必ず 2 枚すべてに記入すること。
6. 解答は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
7. 問題冊子にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
8. 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。
ただし、具合が悪くなった場合、トイレに行きたくなった場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
9. 試験終了の合図があったら直ちに筆記用具を置くとともに、机の上に問題冊子と下書用紙を重ねて置き、その上に表にした解答用紙を重ねておくこと。
10. 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

(1 国社) Question

冷戦終結後、21世紀の国際秩序の形成と変容を、勢力均衡及び覇権、集団安全保障、立憲秩序、国際レジームなど多様な観点から論じなさい。

(2 地域) Question

日中韓首脳会談は2008年に第1回目が開催され、2012年まで毎年開催されたが、2013年以降開催されていない。その特徴について、定期的な会談や事務局が設置されている EU や ASEAN との比較を念頭に置きつつ、「制度化 institutionalization」という観点から論ぜよ。

(3 各国) Question

ウクライナのクリミアにおける住民投票は、国連総会で大部分の国が認めなかった。一方、英国のスコットランドにおける住民投票は、国際的に批判を受けなかった。この2つの住民投票の基本的な違いを、国際政治学の観点から説明しなさい。またこの問題と関連して、領土保全と民族自決について、自己の見解を述べなさい。

平成 27 年度 C 日程一般選抜入学試験問題

(新潟県立大学大学院 国際地域学研究科国際地域学専攻)

専門試験（筆記試験）

注意事項

1. 試験時間は、午前 11 時 00 分から 12 時 00 分までである。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
3. この試験は、問題（2 ページ）、解答用紙 2 枚及び下書用紙 1 枚を配布する。
4. 3 題の中から 1 題のみを選択して解答すること。2 題以上に解答した場合は、解答をすべて無効とする。
5. 試験開始の合図があってから解答用紙に、受験番号と解答する問題番号（1 国社、2 地域、3 各国のいずれか 1 つ）を必ず所定の欄に記入すること（氏名の記入は不要）。解答用紙は 2 枚あるので、必ず 2 枚すべてに記入すること。
6. 解答は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
7. 問題冊子にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
8. 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。
ただし、具合が悪くなった場合、トイレに行きたくなった場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
9. 試験終了の合図があったら直ちに筆記用具を置くとともに、机の上に問題冊子と下書用紙を重ねて置き、その上に表にした解答用紙を重ねておくこと。
10. 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

(1 国社) Question

冷戦終結後、21 世紀の国際社会の変容について、国際関係における行為主体の観点から、具体的な事例を踏まえて論じなさい。

(2 地域) Question

任意の二国間関係（たとえば日韓関係）に一国以上（たとえば中国、あるいは中国と米国）を加えて多国間関係（たとえば日中韓、あるいは日米中韓）と位置付けることで初めて見えてくる諸相について論ぜよ。

(3 各国) Question

2014 年 3 月、ロシアはウクライナのクリミア半島のロシアへの併合を宣言した。ロシアは、クリミアはかつてロシア領だったとして、主として歴史的観点から併合を正当化しようとしている。また、クリミア住民の民族自決権も正当化の理由としている。これに対して、日本を含む多くの国は、ロシアの行為はウクライナの主権侵害だとして国際法的観点からロシアを批判している。この問題について、民族自決、領土保全、国家主権などとの関連で、国際政治学の観点から説明しなさい。またこの問題に関する自己の見解を述べなさい。